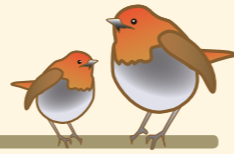


# 平群谷の古墳 約5km



## みどころ

平群は、中心を龍田川が流れる谷地形の土地です。古代豪族である平群氏の本願地であり、古墳時代後期から飛鳥時代にかけての遺跡が多数残されています。

### 1 ツボリ山古墳 やまこぶん

ツボリ山古墳(円墳・径20m、横穴式石室長約8m・県の史跡)は、石室が南に開口しています。玄室と羨道にはそれぞれ、凝灰岩製の刳抜式家形石棺があります。石室の特徴から、6世紀末～7世紀初頭に築かれたものでしょう。



平群谷(北から)

### 2 西宮古墳 にしのみやこぶん

平群中央公園内にある西宮古墳(方墳・一辺35.6m、横穴式石室長13.8m・県の史跡)は、貼石で覆われた3段築成の古墳です。築造の際に、丘陵から墳丘基底を切り離れた痕跡が、墳丘の東・西・北に崖面となって残っています。南側の墳丘を1段上ったところに、切石の巨石で築かれた石室が開口しています。羨道入口の天井石は、前端が約45°に切り落とされています。かつてはそれに合わせる板石で、入口がふさがれていたことでしょう。玄室に入ろうとするところには、凝灰岩製刳抜式石棺の身が残されていますが、本来は玄室中央におかれていたと推定されています。7世紀中葉頃に築かれた古墳です。

### 3 柿塚古墳 かきづかこぶん

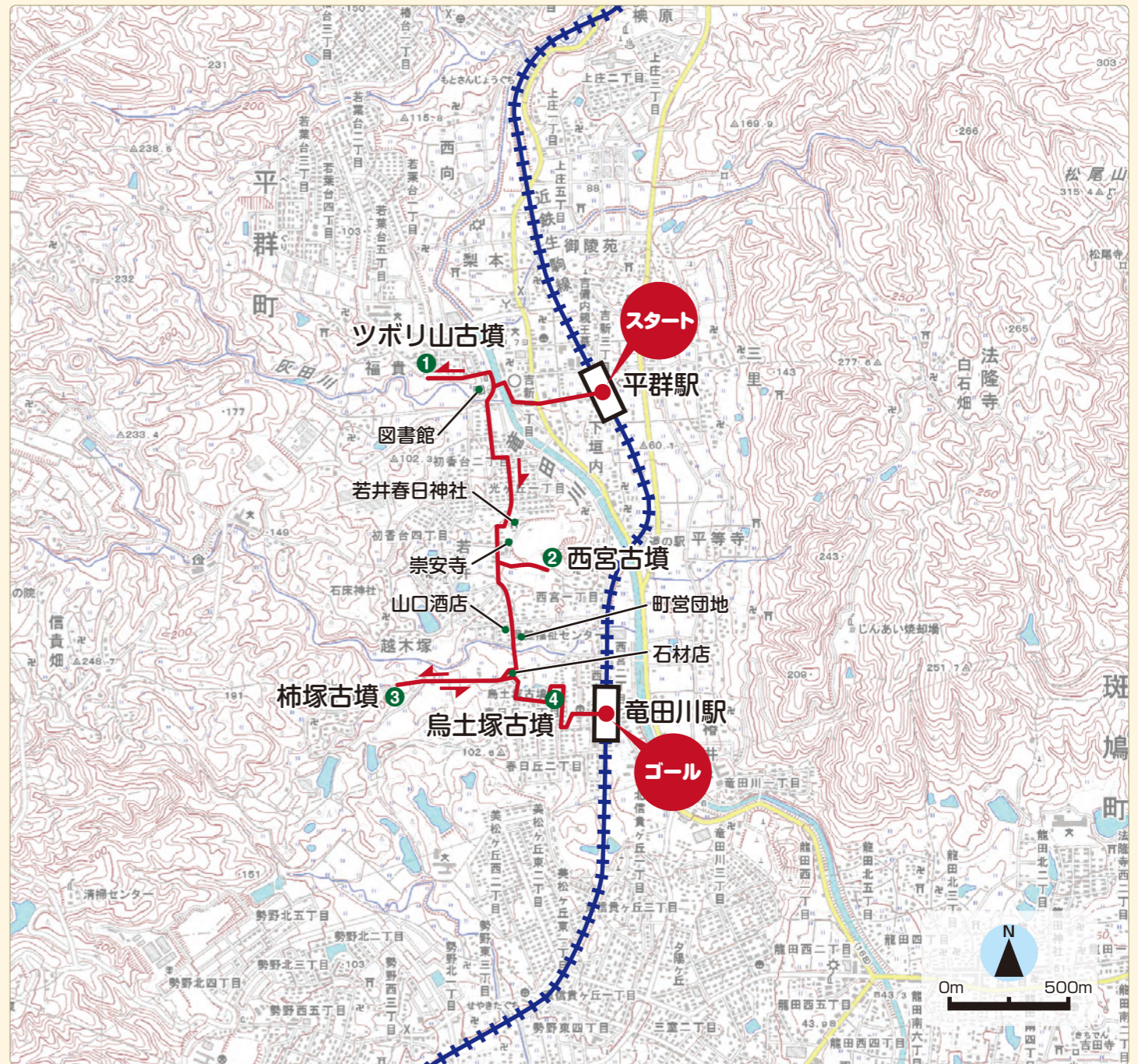
公園を出て南下し、町営住宅を通り過ぎて、石材店があるところで西に進みます。300メートルあまり進むと、変則的な小さな四つ角があります。その四つ角から50mほど行けば、左に小道があるのでこれを上れば、林のように見える柿塚古墳が見えます。説明板・案内板はありません。柿塚古墳(円墳・径約20m、横穴式石室長8.75m)は、南西に石室が小さく開口しています。玄室は長さ5.25mであり、高さ3.95m以上です。玄室奥には、板石を用いた箱式石棺があります。6世紀中頃に築かれた古墳です。  
※畑などには立ち入らないようにしましょう。

### 4 烏土塚古墳 うどづかこぶん

先ほどの石材店のあるところで南に入り、釣池の周囲を廻るように入れば、烏土塚古墳へと登る階段が見つかるでしょう。烏土塚古墳(前方後円墳・全長60.5m、横穴式石室長14.2m・国の史跡)は、6世紀後葉頃に築かれた平群谷最大の古墳です。後円部南中央に、巨大な石室が開口しています。玄室は長さ6m・高さ4.5mという巨大なものであり、奥には凝灰岩製組合せ式石棺がおかれています。石棺の東側石には、斜格子の線彫りがみられます。また羨道にも組合せ式石棺の底石が残っています。烏土塚古墳から直線距離で200m弱で竜田川駅に到着です。



烏土塚古墳横穴式石室



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21業複、第425号)

## コース

スタート 近鉄平群駅

▼12分

1 ツボリ山古墳

▼20分

2 西宮古墳

▼20分

3 柿塚古墳

▼10分

4 烏土塚古墳

▼7分

ゴール 近鉄竜田川駅

**注** 柿塚古墳の場所はわかりにくいかもしれません。地元の方にお尋ねになることをお勧めします。石室内の観察に、懐中電灯などがあれば便利です。寺社等の見学に際し拝観料などの料金が必要な場合があります。紹介したコースには私有地なども含まれます。マナーを守って見学しましょう。

平城遷都 1300年祭



©Heijyo-kyo 1300th Anniv.